

第7号議案

農山漁村地域整備交付金事業ほか

くさばみはつちようがわらせん

草喰八丁河原線

かんらまち

甘楽町

着手年度

評価理由

平成11年度

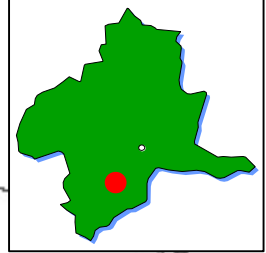
再評価後5年経過

1. 事業の概要

- 甘楽町を南北に縦断して流れる雄川右岸の森林地域における骨格的な林道の整備を行い、森林整備の推進を図る。(利用区域:1,142ha、人工林率76%)
- 既設の県道・市道・林道、集落間を縦断的に連絡し、生活基盤の充実と林業・山村の振興を図る。



位置図



事業場所	かんらまちおおあざあまびきあざくさばみ かんらまちおおあざあきはたあざたきのさわ 甘楽町大字天引字草喰～甘楽町大字秋畑字滝ノ沢	
区分	従前の計画公表値	今回
全体事業費	4,589百万円	4,589百万円
全体事業費増減の理由	—	—
事業期間	H11～R15	H11～R15
事業内容	道路延長 18,710m 幅員 4.0～7.0m	道路延長 18,710m 幅員 4.0～7.0m

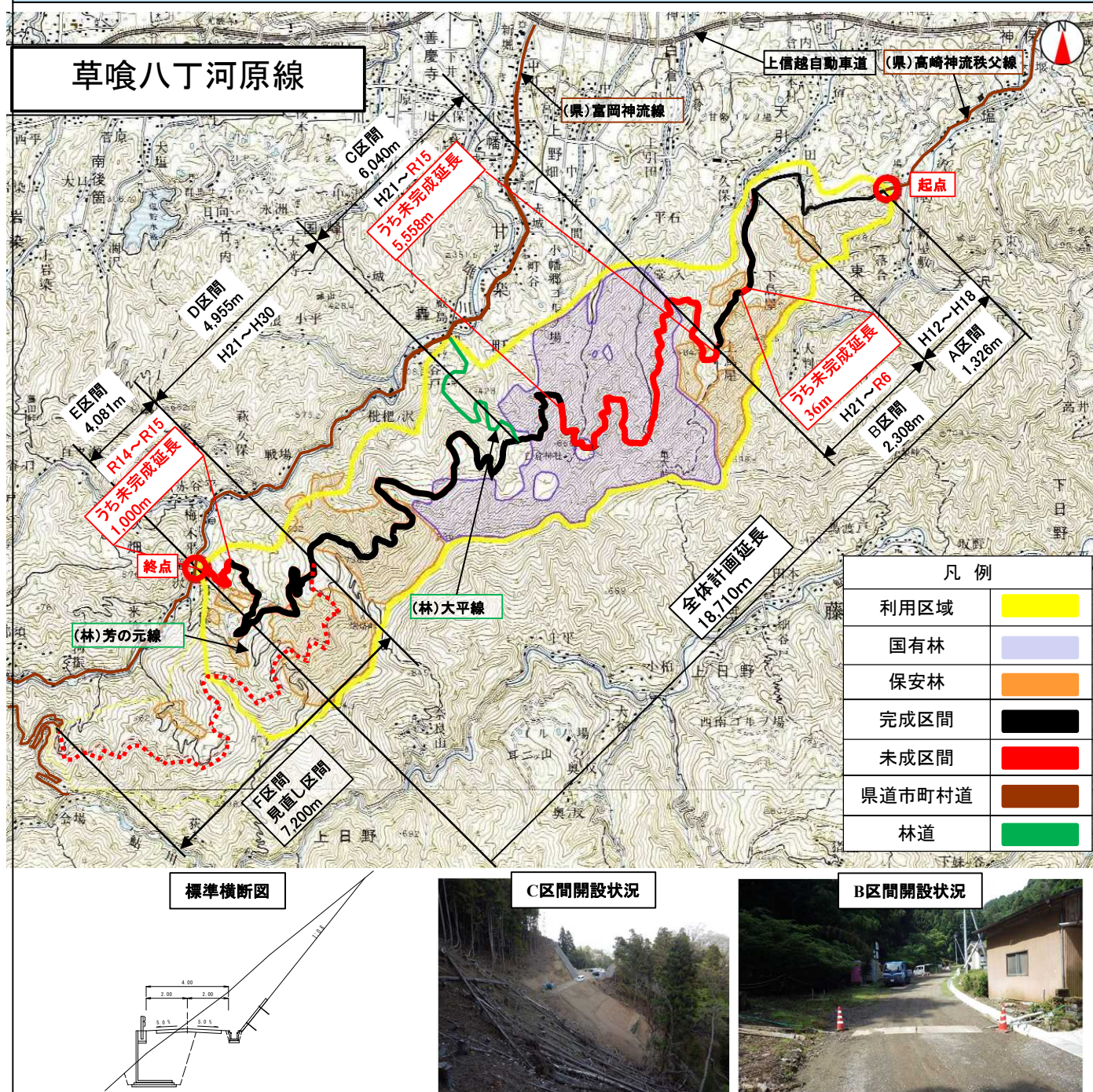
2. 進捗状況

事業経緯

進捗状況

年度	主な経緯	全体計画	前回評価時の進捗状況(進捗率)	前年度までの進捗状況(進捗率)	
H11	全体計画調査				
H12	工事着手				
H21	計画変更(事業期間・延長・事業費)				
R1	前回再評価 計画変更(事業期間)				
		事業費	4,589百万円	2,634百万円 (57.4%)	3,115百万円 (67.9%)
		計画延長	18,710m	10,930m (58.4%)	12,116m (64.8%)

2. 進捗状況(図面・写真等)



3. 事業の目的・必要性に変化はあるのか？

- 草喰八丁河原線は森林整備の促進や低コストな木材生産体制を構築するための基盤となる施設であり、目的・必要性は当初計画のとおりである。
- A区間やD区間は既に全線が開通し、木材生産や森林管理の効率化が図られている。未整備区間においても、開通区間と同様の利用が期待されている。
- 近年、豪雨等が頻発している状況から、森林の持つ公益的機能が高度に発揮されることが期待されており、事業の必要性に変化はない。

4. どのような事業効果が見込めるか？

- 草喰八丁河原線は既設林道間を結び、木材搬出の迅速化、効率化、集約化施業の推進を図る基幹となる林道であり、雄川右岸の広大な森林の利活用を推進する。
- 林道が開設されることで、低コストな木材生産体制の構築が可能となり、森林の循環利用が確立される。また、このことによって健全な森林が造成・維持されるため、森林の持つ公益的機能が高度に発揮される。



費用便益分析

	事業全体		備考
	前回評価時	今回再評価時	
費用合計 (C)	6,903,551千円	7,807,239千円	・工事費 ・維持管理費
便益合計 (B)	10,354,658千円	12,360,890千円	・木材生産等便益 ・森林の公益的機能便益
費用対効果分析 (B/C)	1.50	1.58	

5. 事業手法やコストは妥当か？

【事業採択時・前回評価時の計画(事業費)を変更する理由】

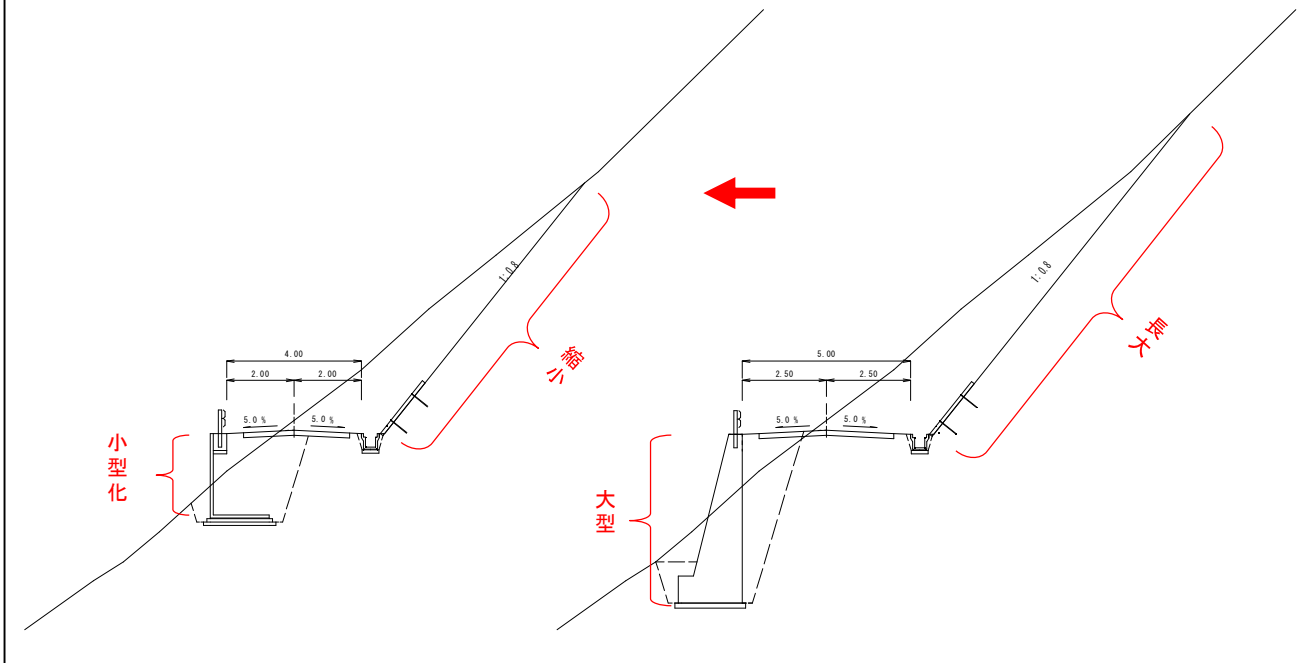
- ・計画(事業費)の変更なし

【今回の変更計画の妥当性】

- ・計画(事業費)の変更なし

【事業費の縮減に向けた取り組み】

- ・C区間において、林道の幅員を5.0mから4.0mに変更することによって切土量を削減し、事業費の縮減を図っている。
- ・切土量を削減することにより、法面保護の施工面積を縮小し、事業費の縮減を図っている。
- ・路側擁壁施工箇所において、L型プレキャスト擁壁の採用を検討し、構造物のコスト縮減を図っている。



6. 事業実施にあたり、配慮した事項はあるか？

- ・希少な野生動植物への影響を抑えられるよう、生息・生育情報の確認や、担当部局への照会を行いながら工事を進めている。
- ・本路線のC区間については、国有林内を通過する線形となっていることから所管する林野庁と連絡調整を行いながら工事及び森林整備を進めている。



7. 事業が長期間要している理由と今後の見通しは？

- 全体計画延長が18.7kmと長大であり、元々が長期計画であった。
- 施工条件の悪い現場が多いことから、年間工事量に限界があることに加え、対策工事の実施が必要な箇所が生じたことから、長期間を要している。
- 未完成となっているC区間は地形が急峻であることから、年間工事量の大幅な増加は期待できないが、早期完成に向けて、既設道路を活かして2工区で開設工事を行い、令和15年度の完成に向けて工事を進めていきたい。



8. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

- 県道及び林道を連絡するD区間は平成30年度に開通した。開通区間に加え、他の区間においても完成した部分から供用を開始し、大型トラックや高性能林業機械等を活用した森林施業が行われている。
- F区間は、地形が急峻な箇所や秩父古生層特有の地すべり地形が存在しており、長期にわたる工事期間と相当量の投資金額が見込まれることから、平成21年度に見直しの検討を行った。地元との協議の結果、林道芳の元線の一部区間を改築して草喰八丁河原線に編入することにより、早期に林道の完成を図り、事業目的を達成することとした。
- 山間部における工事であり、施工条件が悪い現場が多いことから、年間工事量の大幅な増加は期待できないが、改築区間であるB区間及び開設区間のC区間において重点的に事業を実施し、早期の全線開通を目指す。
- 長期間の事業となっているが、草喰八丁河原線は森林整備のための骨格的な路線であり、森林整備の促進や低コストな木材生産体制を構築するための基盤となる施設である。加えて、山村地域の生活道としての利用も見込まれていることから、事業の継続は妥当である。

9. 市町村意見

市町村	再評価における意見
甘楽町	森林整備の促進にとって大変重要な路線であり、山村地域における災害時の避難路としても期待されていることから、事業の継続と早期完成を要望する。